

平成31年3月1日

保護者の皆様へ

宮城県立角田支援学校  
校長 佐藤 文雄

## 平成30年度 学校評価アンケートについて

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、昨年11月に実施いたしました、平成30年度「学校評価アンケート」にご協力いただきありがとうございました。年度末にあたり集計結果をお知らせいたします。この結果につきましては、今後の学校運営の参考とさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。

今年度のアンケートではすべての項目においてAとBの評価の合計が80%未満、CとDの評価の合計が25%以上の評価基準に該当するものではありませんでした。また、同時に実施致しました学校評価（職員用）においても評価基準に該当する項目はありませんでした。ただし来年度から以下の内容につきまして全校的な取り組みが本格的にスタート致しますので、今後とも学校の教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### <県立学校 ICT 機器整備推進事業について>

本校は「県立学校 ICT 機器整備推進事業」の第2期校になっており、平成30年度「一部整備」、平成31年度「本格整備」となっております。既に一部整備されたiPadなどの「情報教育機器」について子どもたちの教育に有効活用できるように新年度は更に教職員一同、研修を深めていきたいと考えております。また平成32年度にはその成果を検証する公開授業も予定しておりますので、ご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

※なお、次項に学校評価アンケートの集計結果を載せてありますので、ご覧ください。

平成30年度 学校評価（保護者用）アンケートの結果

(1) 本年度の努力目標から

提出

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	E わからない
1	教師は、お子さんの重点課題目標（成長の記録に記載）が達成できるよう、努力している。	65%	34%	1%	0%	0%

率：95%

(2) 目指す子ども像から

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	E わからない
1	お子さんは、睡眠時間や1日3回の食事など生活リズムが安定している。（してきている。）	52%	35%	11%	2%	0%
2	お子さんは、あまり好き嫌いせず食事をするようになってきている。	49%	40%	10%	1%	0%
3	お子さんは、嫌なことでも頑張って取り組む様子が見られるようになってきている。	38%	51%	9%	2%	0%
4	お子さんは、日常生活において、食事や着替え等、一人でできることが以前より増えてきている。	60%	29%	9%	2%	0%
5	お子さんは、起きる時間や寝る時間などの基本的な生活習慣が定着し、徐々にではあるがリズムある生活がつけつつある。	52%	37%	8%	3%	0%
6	お子さんは、以前より、返事や挨拶ができるようになってきている。	51%	36%	10%	3%	0%
7	お子さんは、友達や教師と一緒に楽しく活動している。	63%	28%	9%	0%	0%
8	お子さんは、喜んで登校している。	64%	25%	9%	1%	1%
9	お子さんは、行事や学習などを楽しみにし、喜んで参加している。	65%	24%	8%	2%	1%
10	お子さんは与えられた役割を、大人と一緒に（または一人で）取り組むことができるようになってきている。	49%	47%	2%	0%	2%
11	お子さんは、音楽や読書など自ら好きなことを見付け、生活を楽しむ姿が増えてきている。	39%	46%	11%	2%	2%

(3) その他

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	E わからない
1	個別面談や電話等などを通して、担任との十分な話し合いが行われている。	53%	42%	4%	1%	0%
2	個別の教育支援計画は、学校の教育活動における指導や支援、支援会議やサービス利用の際に役立っている。	36%	49%	11%	1%	3%
3	学習の様子や学校のことをお便りや連絡帳等で随時知らせている。	66%	32%	2%	0%	0%
4	就学奨励費の支給事務手続きや学校徴収金の納付手続等について、分かりやすく行われている。	37%	50%	7%	4%	2%
5	スクールバスの運行は、安全に行われている。	75%	23%	1%	0%	1%
6	職員は、保護者への対応を丁寧に行っている。	72%	25%	3%	0%	0%
7	全ての児童、生徒、保護者及び教職員からいじめに関するアンケートを取るなど、いじめの早期発見に努めている。	63%	35%	1%	0%	1%

キリトリ線

-----  
(4)〔自由記述欄〕ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

( )学部 氏名( )

(※保護者のご意見やご要望に対して迅速かつ丁寧に対応するために、お名前を記入していただきます。

封筒に入れてご提出をお願いします。)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

平成30年度 学校評価（職員用）の結果

教職員提出率：100%

以下のそれぞれの質問で、あてはまるものを一つ選び、A（そう思う）、B（大体そう思う）  
C（あまりそう思わない）、D（そう思わない）、の記号を○で囲んでください。

(1) 教育目標・学校運営（教頭）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	児童生徒の実態を踏まえた教育目標を設定している。	66%	34%	0%	0%
2	教育目標の具体化のための取組がなされている。	48%	52%	0%	0%
3	保護者に教育目標の周知を図っている。	34%	65%	1%	0%
4	教育目標を具体化するために、校長の経営方針の下、職員の 共通理解が図られている。	57%	37%	6%	0%

(2) 教育課程・教育計画（教務部）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	児童生徒の障害の状態や特性に応じて教育課程を編成してい る。	43%	57%	0%	0%
2	学校行事は、職員の共通理解の下、組織的な運営が行われて いる。	42%	58%	0%	0%
3	学校行事は、反省を次年度の計画・実施に生かすようにして いる。	47%	53%	0%	0%
4	教育課程は、自立と社会参加を目指したものになっている。	48%	52%	0%	0%
5	担任している児童生徒が重点課題目標を達成した。	13%	82%	5%	0%
6	児童生徒一人一人の実態と新学習指導要領の内容を踏まえた、 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成している。	34%	65%	1%	0%
7	小・中・高等部の系統性及び発展性を考慮した指導計画を作 成している。	27%	63%	10%	0%
8	教育活動全体を通して、自立する姿を見据えた志教育の実践 に努めている。	36%	64%	0%	0%

(3) 教育活動（教務部）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	個別の指導計画は日々の学習活動に活用されている。	40%	58%	2%	0%
2	児童生徒が意欲的に学習へ取り組めるように工夫している。	47%	53%	0%	0%
3	教育活動を推進するに当たり、児童生徒の障害の状態を把握 している	44%	56%	0%	0%

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
4	一人一人の教育的ニーズに応じて、指導内容や指導方法を設定している。	42%	58%	0%	0%
5	T-T方式による指導の良さを生かしながら指導に当たっている。	50%	50%	0%	0%
6	その都度話し合いを重ねるなど、授業や指導の改善を図っている。	53%	47%	0%	0%
7	地域の人々とのふれあいや他校又は白石校の児童生徒との交流及び共同学習を通して、集団活動へ参加しようとする態度を育成している。	32%	65%	3%	0%

#### (4) 進路指導 (進路指導部)

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	児童生徒の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた進路指導が行われている。	48%	52%	0%	0%
2	進路指導担当者と学級担任が連携しながら対応できる体制になっている。	40%	58%	2%	0%
3	進路指導に関わる連絡や情報提供(進路だより、進路の手引き等)がなされている。	50%	50%	0%	0%
4	進路相談等を通して家庭との連携が図られている。	40%	57%	3%	0%

#### (5) 生徒指導・特別活動 (指導部)

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	月別生活目標や長期休業中の生活の決まり等を設定し、共通理解の下指導に当たっている。	39%	61%	0%	0%
2	不審者対策や防犯用具等が整備されている。	60%	39%	1%	0%
3	児童生徒の安全のため、関係諸機関との連絡・連携を定期的に行いながら防犯指導に努めている。	50%	50%	0%	0%
4	交流集会や感謝の会等を通して、児童生徒相互の交流や感謝の態度の育成に努めている。	58%	42%	0%	0%
5	バスマナー教室やバス乗車指導を行い、児童生徒がマナーを守り安全にバスを利用するための指導に努めている。	61%	39%	0%	0%
6	全ての児童、生徒、保護者及び教職員からいじめに関するアンケートを取るなど、いじめの早期発見に努めている。	69%	31%	0%	0%

#### (6) 保健・安全・給食指導 (保健安全部)

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	学校生活・定期健康診断等を通して、一人一人の健康目標に応じた健康作りの指導がなされている。	69%	31%	0%	0%
2	健康な生活や習慣の形成を目指して、家庭との連携が図られている。	53%	45%	2%	0%

		A そう思う	B 大体そう う	C あまりそ う思わない	D う思わな い
3	児童生徒の実態に即して意図的、計画的に給食指導がなされている。	57%	43%	0%	0%
4	給食指導を推進するに当たり、面談で「給食指導に関わる確認書」を取り交わして、家庭との連携を図っている。	68%	32%	0%	0%
5	清掃指導など環境美化に関する指導が常時行われている。	40%	60%	0%	0%
6	児童生徒の安心・安全な生活を目指して、常時、全職員による安全点検を行い異常箇所の早期対応に努めている。	61%	39%	0%	0%
7	安全教室など、より実際に向けた学習活動を計画し、実施している。	58%	42%	0%	0%
8	校内における緊急時の対応（緊急対応マニュアル）を整備するとともに、校内研修を実施し、安全強化を図っている。	60%	40%	0%	0%

### (7) 情報教育（情報教育部）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	授業の情報機器（パソコンなど）や視聴覚機器・と図書教材が積極的に活用されている。	32%	58%	10%	0%
2	情報セキュリティ意識の向上に努め、情報セキュリティポリシーを遵守している。	44%	56%	0%	0%
3	充実した活動を支援するために必要な機器や環境の整備が図られている。	31%	64%	5%	0%

### (8) 研修・研究（研究部）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	検査法研修会の実施は、個別の指導計画及び日々の指導に役立っている。	40%	58%	2%	0%
2	OJTの手法を取り入れた一学級一事例研究の実施は、教員としての力量を高める機会となっている。	45%	55%	0%	0%
3	研究に必要な図書の整備や情報の提供に努めている。	45%	53%	2%	0%
4	研究部便りの発行や、校内研修の計画・実施に取り組み職員の研修意欲の維持・向上を図っている。	47%	52%	1%	0%

### (9) 事務（事務部）

		A そう思う	B 大体そう 思う	C あまりそ う思わない	D そう思わ ない
1	会計処理について、共通理解が十分になされている。	35%	58%	5%	2%
2	事務手続きや会計処理は、明瞭、迅速、正確に行われている。	47%	48%	5%	0%

(10) 校内及び地域への支援（支援部）

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	個別の教育支援計画は、実際の指導・支援及び支援会議、サービスの利用等に役立っている。	38%	60%	2%	0%
2	特別支援教育の専門性を高めるための研修の実施や必要な情報の提供、相談・支援等が適宜行われている。	45%	53%	2%	0%
3	地域に向けた取り組み（かくよう講座、作品の公開）や居住地校学習が、組織的、計画的、継続的に行われている。	55%	45%	0%	0%
4	地域のセンター的機能の充実～圏域市町の幼稚園・保育所及び学校からの相談に対応して特別支援教育の理解を促すとともに、児童生徒等への支援体制が整うように努めている。	55%	45%	0%	0%
5	地域のセンター的機能の充実～圏域市町の関係機関（教育委員会や保健課等）、及び、他の特別支援学校等との連携強化に努めている。	47%	53%	0%	0%

(11) 施設・設備、教材（事務部）

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	教育（学習）環境の面で、施設・設備が安全に配慮され、整備されている。	27%	68%	5%	0%
2	教育（学習）環境の面で、教材・教具を有効に活用できるよう整備されている。	31%	66%	3%	0%
3	施設・設備の整備について、共通理解の上に進められている。	40%	57%	3%	0%

(12) 家庭・地域との連携（教頭）

		A そう思う	B 大体そう思う	C まりそう思わない	D そう思わない
1	保護者への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	58%	42%	0%	0%
2	施設開放、公開講座、授業公開、学校見学会等、開かれた学校づくりを推進している。	52%	48%	0%	0%
3	スクールバスが安全に運行されるよう、大地震時のスクールバス待避所のマップ化や、関係者との連絡強化に努めている。	68%	32%	0%	0%
4	児童生徒の緊急時に対応できる体制やマニュアルを、いつでも活用できる状態にしている。	48%	52%	0%	0%

(13) 総務部 (新設)

		A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない
1	スクールバス運行会社と連携調整して、安全な運営、運行に努めている。	74%	26%	0%	0%
2	防災訓練、引き渡し訓練など、より実際に向けた訓練活動を計画し、実施している。	68%	32%	0%	0%
3	大学と連携・調整しながら教育実習、介護等体験などの計画と実施、評価を行っている。	47%	53%	0%	0%
4	初任研(教諭)に関する計画、指導を所属学年、関係部署と連携を図りながら初任者の指導力の向上を図っている。	65%	35%	0%	0%
5	同窓会の企画・運営を校内外の役員と連携を図りながら進めている。	57%	43%	0%	0%
6	PTA事務局として保護者との調整を図りながら学校運営の連携強化を図っている。	57%	43%	0%	0%

(14) [自由記述欄] ご意見・ご感想がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



## 平成30年度 学校関係者評価について

### 1 学校関係者評価委員会（平成31年2月7日（木）実施）

学校評価の結果及び改善案について提示し、それについて評価委員からご意見を頂いた。頂いた意見は以下のとおりである。

#### ○学校関係者評価委員

- ・学識経験者（1名）
  - ・社会教育団体関係者（2名）
  - ・保護者（2名）
- 計5名

### 2 委員からの意見

※（ゴシック）：質問に対する答え

#### 学校評価（職員用）に関して（本校）

- （7）—1～情報機器の活用について：ICT機器の整備，活用については事前に保護者に周知しますか？

（平成31年度から本格整備となるので，取り組みの内容や方法について保護者に理解していただき学校全体で取り組んでいきます。）

#### 学校評価（保護者用）に関して（白石校）

- ：保護者アンケートの回収率はどのくらいですか？（回収率は100%です。）
  - ：アンケートの内容が本校と白石校では違いますが，どうしてですか？また，アンケートの記名，無記名も本校と白石校では違いますが，どうしてですか？名前を書いてしまうと書きづらくなると思いますが。
- （対象とする母集団が違うので内容も変えています。出された問題に対してすぐに対処，話し合いなどすることができます。D（不十分）を書くのは学校を信頼していることだと捉えており，そのような関係性の中での記名です。C,Dがついた時には，どうしてそのような評価になったのかを聞くことができます。）

#### 全体を通して・その他

- 様々な問題が起きた時は担任に任せきりにするのではなく，皆で情報を共有し相談しながらやってほしい。不登校などは学年や学校がカバーするような体制が必要だと思う。
- 各校ともにコーディネーターが頑張っていると感じます。保育園の新設などの場合にはコーディネーターの手助けがほしいです。
- 様々な保護者がいるので，保護者に合わせた丁寧な説明やフォローをしてほしい。
- 毎年予定されている行事が都合で中止になる時は，あらかじめ知らせてほしい。  
（※H30年度は駅伝大会と日程が重なり角田市保健福祉まつりに不参加のため）
- いろいろな保護者がいるが，他の保護者と一緒に学校を盛り立てていきたい。

### 3 意見に対する対応

- ご意見を基に，要望，その他，改善に向けて前向きに取り組みます。